

平成29年度 学校総合評価

6 今年度の重点目標に対する総合評価

本校では、学校の特色及び工業高校としての社会的ニーズにも考慮して「学校経営計画」を策定し、その中の「学校アクションプラン」において、全日制では4、定時制では2、合計6の重点課題を設定した。各重点課題に対する取り組み状況や評価等はアクションプランに記載したとおりである。

学力と学習意欲の向上は学校の最も追求すべき課題であり、本校では互見授業の実施回数を指標として設定しているが、評議員からは、互見授業の後の意見交換が重要であり、批判的な意見も、お互いに言い合えるような雰囲気づくりが必要である、とご指摘頂いた。生徒指導の充実については、特に交通安全指導の工夫や、挨拶を校内のみならず、校外でも積極的に行うことを期待する、との意見であった。進路指導については、昨年同様に75%以上の生徒が順調に就職し、卒業生が諸方面で頑張っていることを高く評価して頂いた。特別活動に関しては、近年の各部活動、コンテスト等の成果が顕著であったことや、学園祭が大きく盛り上がり、素晴らしい思い出となったことは喜ばしい、と評価して頂いた。

定時制の重点課題については、資格取得指導を通じた学習意欲の向上を促す取り組みを今後も是非、進めて行ってほしい、との意見を頂いた。

学校評議員会は2回開催し、重点課題について説明と報告を行った。評議員の方々からは、本校の取り組みについて評価を頂くとともに、数多くの示唆に富んだご助言や励ましの言葉を頂戴した。こうして伺った数多くのご意見を、今後のより良い学校経営に生かしていきたい。

7 次年度へ向けての課題と方策

- (1) 今年度の学校評価の結果に基づき、本校の現状と課題について職員全体で謙虚に受け止め、計画の改善と取り組み体制の強化に努めていく。
- (2) 達成目標の妥当性を十分に検討し、また具体的な調査方法についても工夫して、重点課題への効果的な取り組みを目指す。
- (3) アクションプランを公開することにより、学校の取り組みに対する地域や保護者の理解を頂き、学校とのより緊密な連携を目指していく。
- (4) 本学校評価システムを通して、職員全体が学校の教育活動への共通理解を深め、生徒の人間形成や自己実現に向けた、真に有意義な教育活動に結びつけるように努める。